

《住民と議会》

1億4000万円を超えている状況である。

Q…水の水源資源について、大崎町は県下でも良い水源を持っている。外国から買収される懸念があるが条例で対応できないか。

A…水源については本町でも水道水源保護について条例を制定してある。水源から保護される範囲等が定められているが、距離が短いため、今後は条例について研究していく必要がある。

Q…中央運動公園の排水設置など、関係課の連携と専門団体との打合せの中で進める行政の仕組みを作ってほしい。

A…排水対策が当初不十分だったため、利用に支障をきたしたが、その後、更に排水対策を施した。大きな事業については各団体と連携するよう行政に提言して

いく。

Q…野方分団の消防タンク車が故障しているがその対策は。

A…町に要望を行っており、現在検討中である。

Q…限界集落について大崎町で画期的な考えはないか。

A…現在は、集落によっては高齢者だけで運営をしているところもあり、計画的な集落の統合による運営が必要となってきている。今後、みんなで支えあい共存・協力した地域づくりが求められていくので町のほうへも要望していきたい。

Q…町道の管理はどこからどこまでやっているか。

A…町道伐採をしたところまでは、ゴミについても清掃するようにしているが、奥の方までのゴミ等の収集については指導していない。

Q…自治公民館長研修会と議会報告会の日程がなぜ重なったか。

A…今後、できるだけ重ならないようにしたい。

Q…住民に対し広報活動は適切か。

A…議会だよりや集落発送でチラシを配布し、町民の方々が利用している公共施設にはA3版のチラシを作成して張り出している。また、防災無線でも放送している。

Q…広報媒体だけではなく一人ひとりの議員が家庭を訪問したり、自治公民館の会議などで報告したらどうか。

A…個々の活動方法があり、個々に議会活動を行っている。

Q…議員研修の結果や、研修内容が、町の政策にどの様に参考になったか詳しく広報すべきである。

A…研修の成果等を、広報の誌面に詳しく掲載する。

Q…一般質問が朝10時開催となっているが、傍聴者のことを考え、開始時間の検討はできないか。

A…朝10時から一般質問を開始している理由として、本会議開会前に議会の運営に関する議会運営委員会と議員相互の意見調整等を行う全員協議会を開催しているため、開始時間を変更することは物理的に難しい。

Q…6月議会の一般質問の内容が3人とも同様の質問があった。調整はできないか。

A…調整はしているが、個々の議員の視点が異なるので許可している。